※文字の大きさは Meiryo UI ／12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、（写真１）（表１）などと文中に記載し、右ページに（写真１）（表１）などと表記の上、貼り付けてください。
※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
※いずれの場合も、必ずＡ３片面１枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは５MB 以下としてください。

※事務局記入欄
No. A-33

【様式２】

部門名：
カリキュラム・マネジメント実践部門

エントリー名：
高知市立浦戸小学校　廣瀬　潤
（平成 30 年度　カリキュラム・マネジメント指導者養成研修）

活動名：

カリマネで「学校」を守る　　～浦戸の魅力・学力・体力アップ～

解決すべき課題：

観光名所「桂浜」を校区に有し、かつては栄えた地区。海岸から１０００mの立地。
現在は、地震津波災害の懸念もあり、少子化・過疎化が急速に進む。(図１)
複式校となった現在、教職員の少なさ・指導方法のバラツキが存在。
「より多くの教育活動を、より少ない時間」で実現できるように、研修で学んだカリキュラム・マネジメントの手法を用い、課題解決を目指す必要性(方向性)が生まれる。(図２)

目標・方針：

浦戸小学校を存続させたい!!　だから…
「浦戸小学校」の特色・「浦戸地域」の魅力を発信し、特認校として本校を選択してもらう。そのためには…
①授業方法の統一……「高知県授業づくり Basic ガイドブック(県 Basic)」等の活用。(写真１)
②足りない人手・人材確保…地域を巻き込む、他の教育機関・団体の力を借りる。
③働き方改革を断行……職員会の原則廃止・直後プラン・DCAP サイクル・一役一人制等。

活動内容：

小規模校であることを生かし、特色ある先進的な取り組み(図３)を通年、効率的に行う。
まず、校内での伝達研修を実施。その後、年間の単元配列等の見直し…作戦タイム。そして…実践へ。
①授業方法の統一…高知県若年教員研修アドバイザー　西留安雄先生(通年１０回)の指導。
算数等教具の準備物が完成。教材準備の空いた時間を自分の時間に。
②他の教育機関との連携…中学校・高校・高専・短大・大学や卒業生と連携。
隣接の校区に一つだけの保育園とも園児数増加で結束。(デマンドタクシー、保育送迎バスの協力)
③公設施設・企業等の活用…桂浜水族館、坂本龍馬記念館、高知新聞社(ＮＩＥ)等。
④地域との連携…ほぼ毎日の放課後加力指導・放課後居場所事業・折り紙教室等。
⑤働き方改革……職員会の廃止や DCAP サイクルの徹底を実行。

活動の成果：

・児童数の増加：平成３０年４月…２８名　⇒　令和元年９月…３４名(グラフ１)
・隣接保育園児：平成３０年４月…１０名　⇒　令和元年９月…２２名
・学力の向上(全国学テ)　：昨年度４月（全国比：国語 A89, B86　算数 A85, B58)
⇒本年度４月（全国比：国語　94　算数　102　）
・体力向上(全国体力調査)：昨年度１学期（５年生：評定Ｃ100%　全員がＣ評定)
⇒本年度１学期（５年生：評定Ａ60%Ｂ20%Ｃ20%,DE 評定なし)
・働き方改革：月４５時間以上残業教職員 (昨年度１０月:約９割。本年度１０月:約２割。)

アピールポイント(アイディアや工夫)：(図４)

・「校務のリニューアル」(仕事への取り組み方マニュアル,校長作成)に則り、業務改善。
・職員会等の削減・廃止　⇒　一役一人制と直後プランの徹底。DCAP 上、提案時期の事前明示。
・授業スタイルの「統一」　⇒「県 Basic」等利用。県内どこの学校でも取り組める形式で推進。
・地域人材・他の教育機関との恒常的な連携。(児童数増加は、校区保育園とも共同で取り組む。)
・講師を招いての授業公開を一人年間１０回以上実施。(令和元年度も継続中。)

図１：学校の存続をかけたカリマネの必要性

平成１９年には、６５名の児童が在籍。
平成２９年には、２６名にまで減少。
※高知市で最小の小規模校となる。
↓
校区唯一の保育園も園児１０名に減少。
・このまま学校がなくなってしまうかもしれない！
↓(学校・地域の強い危機感)
・子どもたちを増やしたい！
計画的にカリマネに取り組む必要が生まれる。

図２：「浦戸」におけるカリマネの方向性

①「浦戸小学校」の特色を発信
→分かる授業・楽しい授業・いきいきした授業。
→特認校である浦戸小の特色ある取り組み。
②「浦戸地域」の魅力を発信
→保護者に「浦戸地区」の魅力も発信する必要性。
→計画的に浦戸の魅力に触れる授業・活動を計画。
③若く数少ない教職員の指導力もアップ
→若年教員・経験の浅い教員の授業力を向上。
→短い年数での転勤・・・授業の仕方の統一。

思いつきの実践と教職員だけでは、学校を守れない。
教育課程・地域等との連携・校務の見直し(カリマネ)に取り組む。

写真１：県内どこでも実践可能な手引書

(左上)「県 Basic：高知県教委」
(右下)「学びの羅針盤：高知市教委」

図３：本校の特色や魅力のある取り組み

グラフ１：本校１０年間の児童数推移

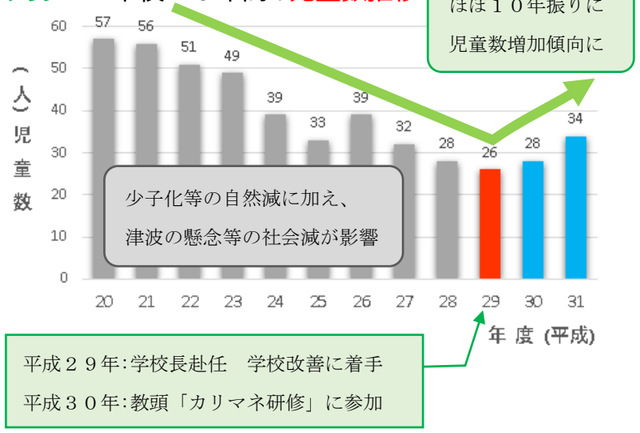
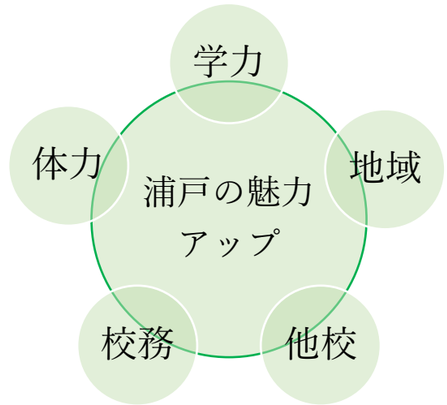
図４：１年間の成果